薬剤師

所属	健康福祉部薬務課麻薬指導班
入庁年	2021年
異動歴	2021年 印旛保健所（健康福祉センター） 2024年 健康福祉部薬務課麻薬指導班

1 仕事の内容は？

私は「薬務課」で、麻薬取締員として、医療用麻薬等の適正使用と薬物乱用防止の啓発に係る仕事をしています。具体的には、医療機関等へ立入検査を実施し、麻薬等の取り扱いについて監視指導を行っています。一方で、薬物乱用防止の啓発の業務では、駅やお祭りにおける街頭での啓発活動や、テレビやラジオ、ＳＮＳといった広告媒体を活用した広報活動、青少年を対象にした薬物乱用防止教室の講師を務めるなど様々な啓発活動を行っています。

2 志望理由は？

私は麻薬取締官を目指し、薬剤師になったという経緯があり、自身の出身である千葉県において、薬剤師としての知識を活用し、薬物乱用防止に係る業務に従事したいと考え、千葉県職員を志望しました。

3 仕事のやりがいは？

医務や薬務といった医療関係の仕事だけでなく、公衆衛生に関する業務、衛生研究所等における検査・研究業務といった様々な業務に従事することができ、各分野において薬剤師としての専門知識を活用できることにやりがいを感じています。

4 印象に残った仕事は？

麻薬・覚醒剤・大麻乱用防止運動千葉大会の業務では、様々な行政機関や教育機関等へ周知し、若い世代を含め多くの方に御参加いただきました。「薬物乱用防止への正しい知識を楽しく学べた」といった感想をいただき、大きな達成感を得ました。

5 県職員として働くことで発見できた千葉県の新しい魅力は？

監視指導や啓発の業務では県内各地に出張する機会が多いのですが、小さな漁港や里山、広大な田園があるかと思えば、都会的な街並みのベイエリアや飛行機がひっきりなしに離発着する成田空港があったりと、一つの県の中でも様々な風景に巡り合うことができます。それぞれの地域にポテンシャルを感じさせるところが千葉県の魅力だと感じています。

6 職場の雰囲気は？

薬務課は、在籍している職員のほとんどが薬剤師で、同じ職種の方ということもあり、仕事上の疑問点などを相談しやすい環境です。また、公文書や伝票の作成方法など、県庁特有のルールを習得することが大変ですが、業務経験の豊富な方が多く、手厚いサポートに支えてもらっています。

7 休日や退庁後の過ごし方は？

休日と年次休暇を活用して、友人や家族と国内旅行や海外旅行に行き、思いっきりリフレッシュしています。また、日帰りでも県内・県外の様々な場所へ美味しい料理を求めて、車でドライブへ出掛けることが多いです。

8 一日のスケジュール

8:30 出勤　メール確認や1日のスケジュール確認

9:00 ミーティングで業務方針の相談・情報共有

10:00 出張（立入検査）

12:00 出張から帰庁・昼休憩

13:00 立入検査の結果をまとめる

15:00 薬物乱用防止対策業務に係る契約資料の作成

16:00 国への報告資料作成や翌日の準備

17:15 退庁